



広島、鳥取県と接する新見市は、全域が中国山地の脊梁地帯に属し、総面積の86%を森林が占める自然豊かなまちです。4月、同市にも停車するJR西日本の特急「やくも」(岡山―出雲市間)の新型車両がデビュー。9～11月には岡山県北12市町村で初めて開かれる国際芸術祭「森の芸術祭 晴れの国・岡山」の会場にもなっており、旬の話題が盛りだくさんです。

ナショナルグループ取締役会長の宮長雅人氏、写真家中川正子氏、岡山大学研究・イノベーション共創機構准教授岩淵泰氏、新見公立大学学生有志が、新たな視点で自然や文化、癒しなどをテーマに15点をピックアップしました。

「にいみが誇るテロワール」風土が一体となったローカルフード「カルブド」コース、「にいみの自然に癒しを求めて」は、親子孫水車がある「夢すき公園」、希少な湿生植物が群生する国指定天然記念物・鯉が産原、県指定天然記念物・満奇洞といった雄大な自然を体感、歴史に焦点を当てた「にいみの光」山田方谷ゆかりの地を巡るは、幕末の備中松山藩で財政改革を成し遂げた儒学者山田方谷ゆかりの地をたどります。

プラン No.1 にいみが誇るテロワール ～風土が一体となったローカルフード

新見の魅力は、個性ある地域に育まれた豊かな自然が、生活している人のかかり、おいしくなっています。

新見の風土が育む芳醇な香りを活かした紅茶専門店「アーリーモーニング」

日本最古と言われる蔓牛(つるうし)をルーツに持つ千屋牛

国産キャビア「新見フレッシュキャビア」

ブドウ生産から醸造まで手がける「domaine tetta」のワイン

岡山県が全国有数の出荷量を誇るピオーネ。新見はメイン産地

Photo by Yoko Inoue

プラン No.2 にいみの自然に癒しを求めて

長くまっすぐ伸びる「荒戸神社の参道」が素晴らしい。あまりの静けさに「地の果て」のような心持ちになりました。

何げなく「帰り道に見上げる夜空」。たくさんのきれいな星を見ることができ、日々の生活で疲れた心が癒されます。

近年「映えスポット」として人気の満奇洞。「森の芸術祭」の展示会場の一つ

プラン No.3 にいみの光 ～山田方谷ゆかりの地を巡る

岡山県の歴史を知るうえで重要なまち。体験を通じて学びを深められます。

方谷が隠棲後に母の出生地へ建てた小庵「方谷庵」

幕末の藩政改革者、教育者として知られる山田方谷は明治維新後、現在の新見市大佐に移住。足跡が至るところにあります。

300年以上続く「土下産まつり」(御神幸武器行列)。毎年10月15日開催

詳細は特設サイトで

プロジェクトやふるさとプランの詳細は二次元コードからチェック!

お知らせ

6月8日付本紙で、発見した「ふるさとの光」を一挙紹介。そして、7月上旬には選定者の写真家中川氏が現地を巡り、各スポットの魅力写真を交えて紹介します。

旬のエリアで新たな魅力体感

【主催】「ふるさとの光」発見プロジェクト実行委員会
【構成】北国新聞社、福井新聞社、京都新聞、神戸新聞社、山陽新聞社、中国新聞社

【特別協賛】JR西日本

ふるさとの光

発見プロジェクト 6紙連携企画

in 岡山 - 岡山県新見市 -

西日本の各地には、豊かな自然の中で育まれた歴史や食文化が息づいています。山陽新聞社をはじめ西日本の6地方新聞社は、エリアの新たな魅力を発信する「ふるさとの光」発見プロジェクトを始動しました。第1弾は、岡山県北西部に位置する新見市を舞台に展開。写真家や学生ら4個人・団体の協力で、同市のお薦めスポットや取り組みなどを「ふるさとの光」として発見しました。多くの人に知ってもらい、足を運んでもらうことで、地域の持続可能な発展を目指します。



「にいみの光」独自視点で紹介

選定者の皆さん

新見公立大学 学生有志

岡山大学研究・イノベーション共創機構 准教授 岩淵 泰氏

写真家 中川 正子氏

株式会社ちゅうぎん フィナンシャルグループ 取締役会長 宮長 雅人氏

選定のポイントや印象語る

キックオフ & 交流会

8日に岡山市内で開かれた「ふるさとの光」発見プロジェクトのキックオフ & 交流会では、宮長氏、中川氏、岩淵氏、新見公立大学健康科学部3年の浅海菜衣さん、笹倉彩希さんが、選定のポイントや印象に残ったエピソードについて語りました。

ポイント

宮長 自然に恵まれているところが新見の良さ。癒しを感じてもらえるところ、山田方谷のゆかりの地であることを知ってもらいたいという点です。

中川 外から来た人間の視点で、地域に埋もれている「宝」を見つけたいと考えました。偶然出会った荒戸神社の参道は手つかずの美しさが残っており感動しました。

岩淵 新見は水はけが良いカルスト台地を生かした農業が特徴です。新見ならではの特産品を生み出す土壌や地質、地形といった「テロワール」を紹介したいと考えました。

浅海 進学を機に新見に来ました。初めて見て感動したものが、学生生活を送る中で、すてきな体験をたくさん味わうことができました。

宮長 高校時代まで新見で過ごし、入学後4年間、新見支店で働き、その後、もう50年前の話。どんなところがあたたかかと思いをたどるのに苦しみました。

中川 井倉祠の造形美に圧倒されるのと同時に、随所に設置された「頑張れ」「あと少し」といった手書きの案内板に人の温かみを感じました。

岩淵 例えば江戸時代から続く土下産まつりは年一回のみ。1年を通じて新見を訪れようという気持ち、何が旬か、地域住民と来訪者の交流から掘り起こしたいです。

地方の未来と可能性

宮長 プロジェクトは新見を知ってもらうスタート。これを機に、地域を巻き込んだ取り組みを継続することが、持続可能な地域へ向けた力になると考えます。

中川 荒戸神社の参道のような景色が残っているのは奇跡です。そんな宝を、地元の人にもっと認識して大切に、保存していくことが地方の発展につながると思います。

岩淵 私たちが岡山のまちを愛しむことが大切。観光客がたくさん来れば魅力を語る機会も増え、私たちは岡山が好きになる、こんな循環ができれば持続的になるでしょう。

浅海 新見で人生初のホテルを見た時、目が覚めていると思いましたが、風景を大切に、地元で活動している人を応援していただけたら元氣なまちになると思います。

笹倉 ホテルや星空は地元の人にとって当たり前にあるもの。そんな魅力を私たちが発信し発信することで、興味を持つ人が増えたら地域を盛り上げることができると思います。

